

がん患者における貧血・FACT-An日本語版の 信頼性・妥当性の検証

栗田まや, 森田智視, 石澤賢一, 下妻晃二郎
江口久恵, 齋藤裕子, 後澤乃扶子, 植田いずみ
江口研二, 大橋靖雄

背景と目的

- がん患者において, 病状の進行あるいは治療により生じる貧血はQOLの低下につながる可能性がある.
- 本邦では, がん患者における貧血とQOLスコアに関する本格的な検討はされていない.
- がん患者の貧血の程度, 変化量とFACT-An日本語版で測定したQOLスコアとの関連性, 信頼性・妥当性について検証する.

対象

- 研究施設: 多施設共同(がん専門9施設)

東海大学医学部附属病院 血液腫瘍リウマチ内科
東海大学医学部附属病院 呼吸器内科
北里大学病院 外科
群馬県立がんセンター 外科
呉医療センター
北海道がんセンター
四国がんセンター
東北大学医学部附属病院
静岡県立静岡がんセンター

- 研究期間: 2003. 10 ~ 2004. 9
- 予定登録数: 200例

方法

適格基準

がん治療中*, もしくは今後予定のある患者
(がん種は問わない)

*化学, ホルモン, 放射線療法, / 手術症例は除く.

インフォームドコンセント

QOL調査 [FACT-An 日本語版]
登録時・3カ月後の2時点, 2回

QOLスケール：FACT-An

FACT-An (47項目)	FACT-G (27項目)	TOI-An (34項目)
	社会性 (7項目)	
	精神性 (6項目)	
	活動性 (7項目)	
	身体性 (7項目)	
	貧血 (20項目) AS	

FACT-An : Functional Assessment of Cancer Therapy-Anemia
 FACT-G : Functional Assessment of Cancer Therapy-General
 TOI-An : Trail Outcome Index-Anemia
 AS : Anemia Subscale

患者背景 (N=227)

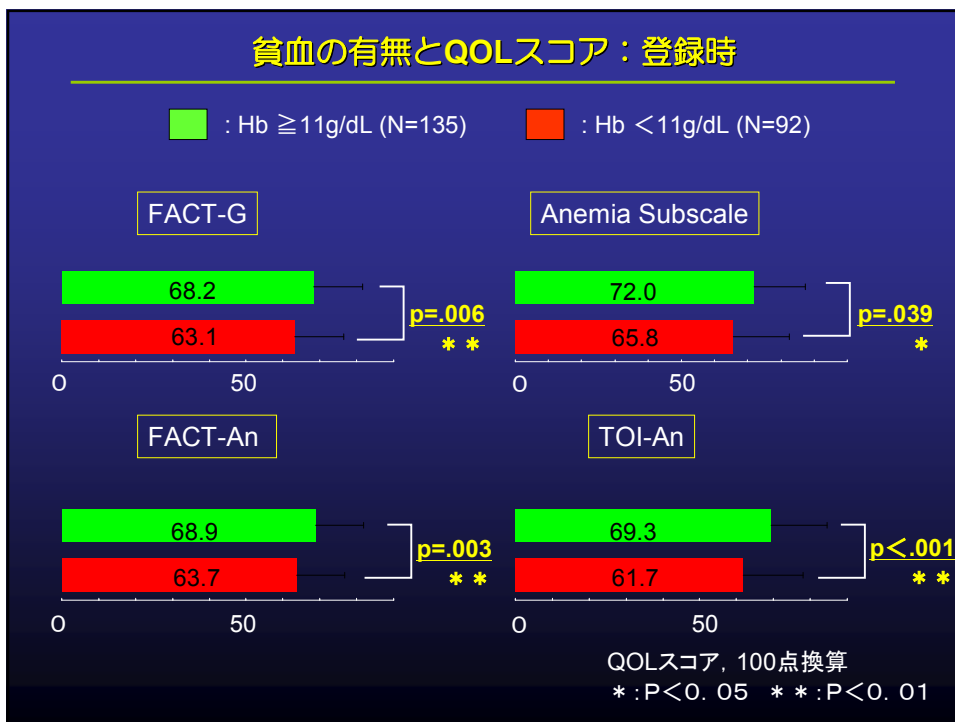
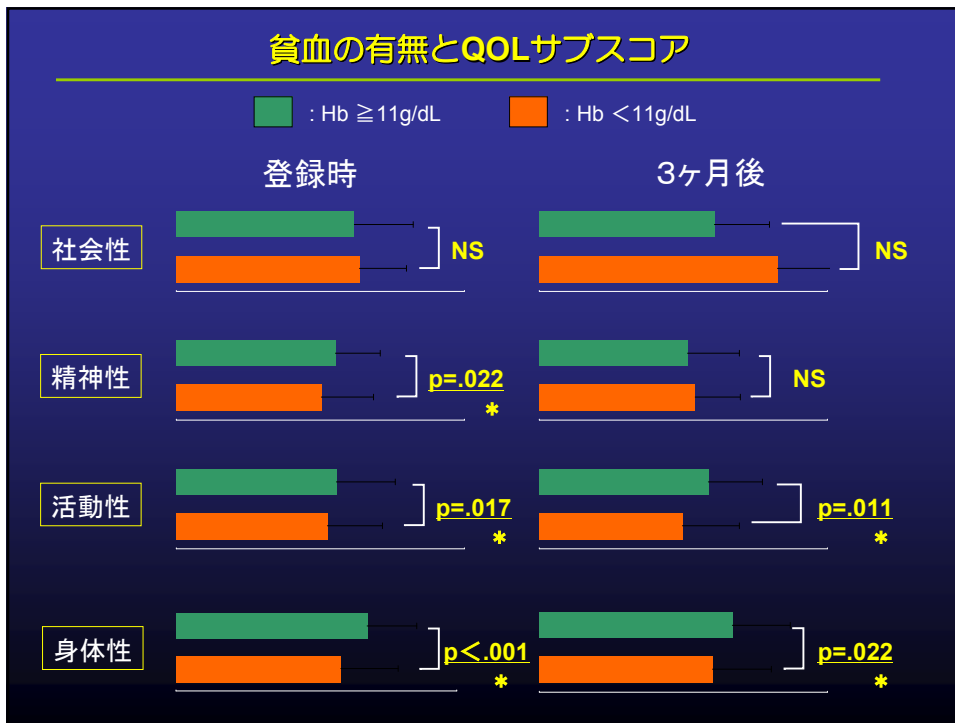
Characteristic	Mean±SD (range)	N	%
年齢	59±12 (27- 84)		
性別			
男性 / 女性		126 / 102	55 / 45
がん関連合併症			
あり / なし		77 / 150	34 / 66
ヘモグロビン値 (g/dL)	11.4±1.8 (4.5- 15.6)		
<11 / ≥11		92 / 135	40 / 60
がん種			
肺がん		98	43
乳がん		60	26
リンパ腫		32	14
白血病		24	16
その他		13	5

結果

	Number (%)	
	登録時 (N=227)	3ヶ月後 (N=209)
回収率	227 (100)	209 (100)
完答率	225 (99.1)	206 (98.6)

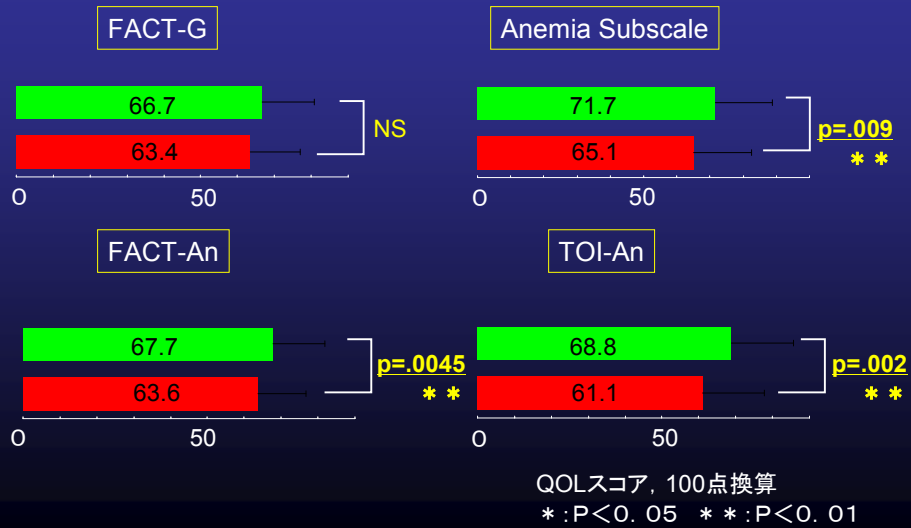
尺度の信頼性

	登録時 (N=227)			3ヶ月後 (N=209)		
	MEAN	SD	Cronbach's Alpha	MEAN	SD	Cronbach's Alpha
社会性 (SWB)	18.7	5.7	0.80	18.3	5.8	0.82
精神性 (EWB)	16.7	5.0	0.79	15.7	5.1	0.82
活動性 (FWB)	16.9	6.1	0.84	16.6	5.8	0.84
身体性 (PWB)	19.3	5.8	0.81	19.3	6.2	0.86
貧血 (AS)	55.6	12.9	0.90	55.4	14.0	0.92



貧血の有無とQOLスコア：3ヶ月後

■ : Hb \geq 11g/dL (N=132) ■ : Hb < 11g/dL (N=75)



Hb値の変動とQOLスコア変動との相関

	回帰係数	95%CI	p value
FACT-G	1.5	.04-.31	.007
FACT-An	1.6	.09-.35	.002
AS	2.1	.08-.34	.002
TOI-An	1.9	.08-.34	.004

単回帰分析

考察および結語

- がん治療において、QOLは重視されるべき項目であるが、本邦での認識は欧米に比べて低い。
また、貧血とQOLとの評価基準は本邦には存在しない。
- 本検討より、FACT-An 日本語版による QOLスコアは、がん患者における貧血の程度や変動と有意に相関した。
- 今後、QOL改善のため貧血を伴うがん患者への臨床的介入が予想される。その評価法としてFACT-An 日本語版による QOL調査は妥当であり、その臨床的有用性が示唆された。